知事コラム

（令和2年8月6日配信分「多文化共生社会の実現に向けて」）

皆さん、こんにちは。

今週の８月３日、オープンしてから１年を迎える北海道外国人相談センターを訪問しました。

北海道外国人相談センターは、北海道在住の外国人の方々に安心して暮らしていただくため、在留手続きや仕事のほか、医療や子育て、教育などはば広く生活に関する相談対応を、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語など１１言語以上で行っています。

また、北海道は広いことから、札幌から遠い市町村で生活している外国人の方々が相談しやすいように、センターの職員が道内の各地域で相談会を行っています。

センターの職員や相談員の方は、「外国語に対応できる医療機関が少ないと感じている」といった課題や、相談者の方々から「母国語で正しい情報が得られる」と感謝され、やりがいを感じているとお話されていました。

また、新型コロナウイルス関連の相談も多く寄せられており、職員の皆さんが、新型コロナに関するさまざまな制度などについて毎日勉強しながら対応されてきているとのことです。

私からは、道内の多くの外国人の方々にとってわかりやすく、正しい情報をお伝えするため対応していただいている職員の皆さんに感謝を申し上げ、「これまでに作ってきた信頼関係をこれからも大切にしていただきたい」とお願いしました。

新型コロナウイルス感染症は、多くの外国人の方々にも大きな影響を与えています。こうした中、道では、８月から９月の２ヶ月間を、「新北海道スタイル集中対策期間」として、道民の皆様、道内事業者の皆様に対し、改めて感染拡大防止の実践を呼びかけています。

これからも、北海道で生活されているすべての方々が、安心して暮らすことができる北海道づくりに取り組んでまいります。

◆北海道外国人相談センターに関する情報はこちらをご覧下さい。
https://www.hiecc.or.jp/soudan

◆新北海道スタイル集中対策期間に関する情報はこちらをご覧下さい。
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssa/0731honbukaigi20_02.pdf